

小千谷小学校の「学校ボランティア」とは？

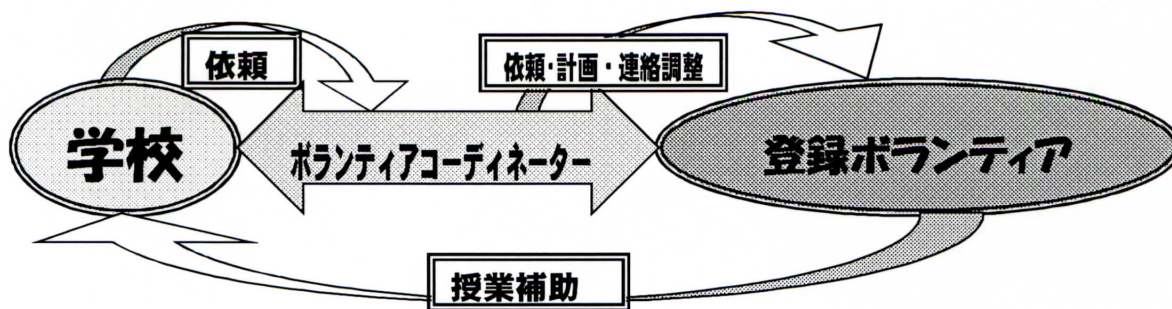
地域や保護者の登録ボランティアが学校の要望に応じて学習活動の補助に入ったり自分の趣味や特技を生かして子どもの教育環境の向上に寄与したりするシステムです。

平成7年度より、「学校を核とした学び合う共同体作り」を目指して、保護者、地域住民の授業への参加を得てきました。この参加活動が、平成10年に学習参画として、学校と地域住民・ボランティアが計画立案から連携する形となりました。さらに、平成12年にボランティアコーディネーターを中心とする体制として整えられ、それ以降、組織的に活動が展開されるようになってきました。今では、ボランティアコーディネーターが学校と登録ボランティアの連絡調整役として十分機能するようになり、学校とボランティア双方のニーズに適切に応じることができるようになっています。

小千谷小学校の特徴は、ボランティアコーディネーターが学校と登録ボランティアの橋渡し役を担い、それが効果的に機能していることです。

学習時に担任だけでなく多くの大人の目で子どもたちを見ることにより、より細やかな支援や安全管理が可能になります。

◎システム図



◎子ども・ボランティア・学校にとってのよさ

子ども



多くの大人に見守られる中でより充実した学習ができます。

地域の人々とのつながりができます。

子どもたちは、ボランティアの方々の姿から、ボランティアに取り組む生き方を学びます。



ボランティア

自分の特技を生かし、自己実現を図ることができます。

また、生涯学習の契機が生まれます。

子どもを知り、家庭や地域の子育てに生かすことができます。

学校



地域とともに歩む学校としての機能を果たすことができます。

子どもたちへ、必要に応じたより細やかな指導を行うこと、また、安全かつ効率的な指導ができます。

谷小に、より豊かな教育環境が生まれます。